政策　04　都市基盤に関する政策

施策　04　市街地の整備

あるべき姿

市街地開発事業などにより、災害に強く、秩序ある魅力あふれる街並になり、人口増加や土地の有効活用が図られています。

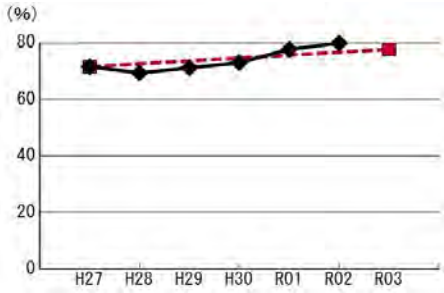
■施策の成果状況と評価

指標①

秩序ある街区、区画、街並になっていると感じる市民の割合（%）

【市街地整備課】

基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
71.5	77.6	79.8	77.6	☀（向上）



対前年度：☀（向上）

目標達成度：▮▮▮（高）

評価

（状況）秩序ある街区、区画、街並になっていると感じる市民の割合は、基準値(71.5%)と比較して、8.3ポイント向上し、前年度と比較しても2.2ポイント向上しました。

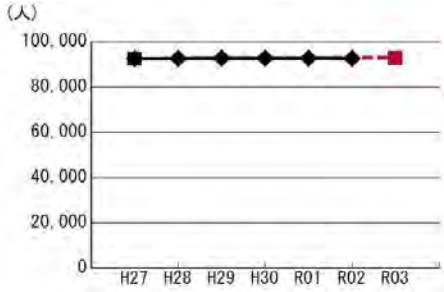
（要因）指標値は平成30年度までほぼ横ばいでしたが、令和元年度に駅通り地区再開発事業が完了し、施設建築物や道路及び公園などの公共施設が整備され、約10年前に完成したエルミこうのすと一体の基盤整備が図られました。また、土地区画整理事業でも一定の進捗が図られ、インフラ整備に伴ってさらに新しい街並みが形成されつつあります。

指標②

市街化区域内人口（人）

【市街地整備課】

基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
92,466	92,664	92,563	92,912	☀（向上）



対前年度：☂（低下）

目標達成度：▮▮▯（中）

評価

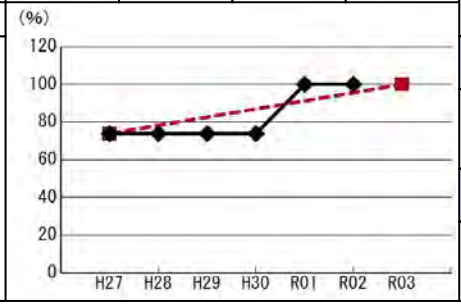
（状況）市街化区域内人口は、基準値（92,466人）と比較して、97人増加し、前年度と比較して101人減少しました。

（要因）土地区画整理事業の進捗や再開発事業の完了により住宅供給エリアが拡大されていることが挙げられます。一方で、人口の自然減少も進んでいる状況であるため、引き続き区画整理事業の推進による波及効果をねらい、市街化区域内人口の増加を図っていきます。

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01　鴻巣中心拠点の充実

指標	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
再開発地区（A地区、駅通り地区）の公共空地整備率（%）【市街地整備課】	73.9	100	100	100	☀（向上）



対前年度：☀（向上）

目標達成度：♛（達成）

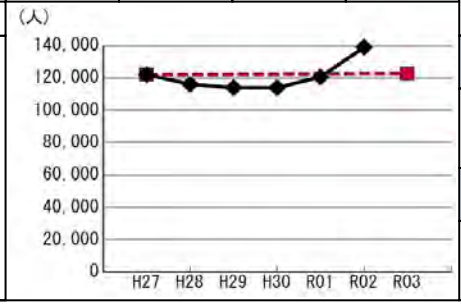
評価

（状況）再開発地区（A地区、駅通り地区）の公共空地整備率は、基準値（73.9%）から100%になりました。

（要因）令和元年度に駅通り地区の再開発事業による整備が終了し、道路や公園といった公共施設が供用開始されたことにより、利便性が高まりました。

基本事業01　鴻巣中心拠点の充実

指標	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
鴻巣駅周辺流動人口（＝地域経済分析システム（RESAS）における携帯位置情報）（人）【市街地整備課】	122,075	120,667	138,958	122,806	☀（向上）



対前年度：☀（向上）

目標達成度：♛（達成）

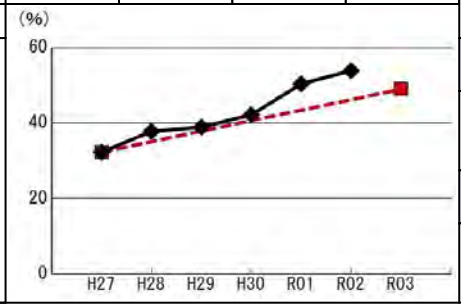
評価

（状況）地域経済分析システム（RESAS）による鴻巣駅周辺における各月流動人口の年度間合計数は、基準値(122,075人)と比較して、16,883人増加しました。

（要因）鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業に伴う施設建築物新築工事が令和元年7月に完了し、マンションへの入居や店舗のオープンに伴い、人々の流れが活性化したことでコロナ禍ではあったものの、流動人口が大きく向上したものと考えられます。

基本事業02　土地区画整理事業の推進

指標	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
舗装まで整備が完了している区画街路の整備率（%）【市街地整備課】	32.3	50.4	53.9	49.0	☀（向上）



対前年度：☀（向上）

目標達成度：♛（達成）

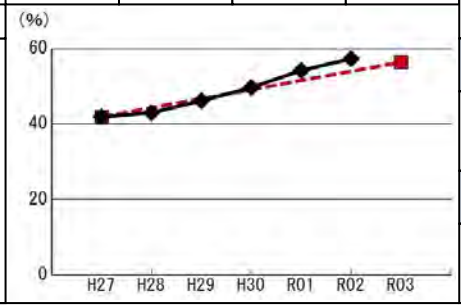
評価

（状況）区画道路整備率は、基準値(32.3%)と比較して、21.6ポイント向上しました。

（要因）市からの繰入金や国庫補助金の増加により事業費を確保し、他事業（上下水道事業等）と連携を図りながら、区画街路の整備を推進したことなどが挙げられます。

基本事業02　土地区画整理事業の推進

指標	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
仮換地の整備が完了し、利用が可能になった土地の使用収益開始率（%）【市街地整備課】	41.9	54.2	57.3	56.4	☀（向上）



対前年度：☀（向上）

目標達成度：♛（達成）

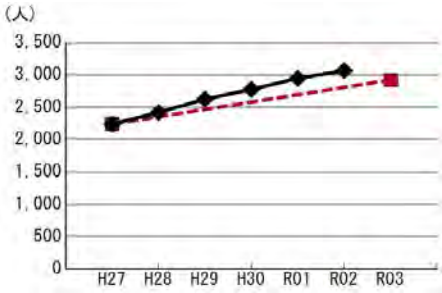
評価

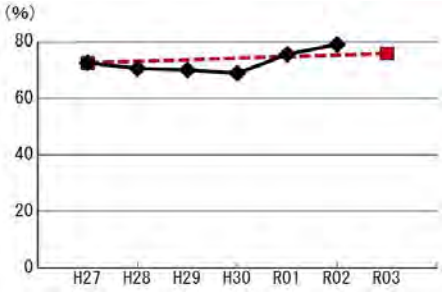
（状況）使用収益開始率は、基準値(41.9%)と比較して、15.4ポイント増加しました。

（要因）区画道路の整備推進により、使用収益を開始する宅地が増加したことが挙げられます。今後は、区画道路の整備エリアが拡大しますので、使用収益を開始する宅地の増加を目指します。

基本事業02　土地区画整理事業の推進

指標	土地区画整理事業施行区域内人口（人） 【市街地整備課】	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
		2,240	2,947	3,068	2,924	☀（向上）
評価	（状況）土地区画整理事業施行区域内の定住人口は、基準値(2,240人)と比較して、828人増加しました。 （要因）使用収益開始率が向上したことにより、保留地や地権者の住宅建築が進んだことが挙げられます。今後も引き続き使用収益開始率を向上し、定住人口の増加を目指します。					対前年度 ☀（向上） 目標達成度 （達成）



基本事業03　駅及び駅周辺の利便性の向上

指標	駅の利便性（バス、タクシー、送迎者への乗降等）に関する満足度（%） 【都市計画課】	基準値(H27)	実績値(R01)	実績値(R02)	目標値(R03)	対基準値
		72.5	75.5	79.0	75.8	☀（向上）
評価	（状況）市民アンケートによる駅の利便性に関する満足度は、基準値(72.5%)と比較して、6.5ポイント向上し、前年度と比較しても3.5ポイント向上しました。 （要因）ＪＲ3駅の各駅前広場の整備は概ね完了し、利便性は向上していると考えられます。今後も引き続き利用しやすい駅前広場の整備に取り組んでいきます					対前年度 ☀（向上） 目標達成度 （達成）